

平成29年9月6日

船橋市長 松戸 徹 様

船橋市リハビリセンター  
運営委員会 委員長 鳥海 正明

船橋市リハビリセンターの平成28年度事業報告並びに中期目標及び中期行動計画達成状況の評価について（報告）

船橋市リハビリセンター運営委員会設置要綱第2条第3号の規定に基づき、本委員会において、平成28年度事業報告、中期目標及び行動計画達成状況並びに毎事業年度における管理の実績について評価を行った。

平成28年度事業報告については、指定管理者が患者及びその家族に対して質の高い医療及び介護サービスを提供していることが確認された。このことから、本委員会としてはその運営全般について高く評価をするものである。

なお、中期目標及び中期行動計画達成状況の評価については別紙のとおりである。

## 船橋市リハビリセンター 中期目標及び行動計画達成状況評価

### 1. 採点基準及び評価について

中期目標及び行動計画達成状況の評価（案）の作成にあたっては、事務局において各目標の仮評価を行なうものとし、それぞれに4段階の採点を行なった。採点の基準及び評価は以下の通りである。

#### 【評価】

- S・・・目標が高いレベルで達成されている
- A・・・目標が達成されている
- B・・・目標が概ね達成されている
- C・・・目標が達成されていない

#### 【各目標の評価基準】

##### I 外来患者について

##### 目標1 利用者アンケートによる患者満足度

##### <リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

##### <リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

## II 通所リハビリ利用者について

目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

目標3 介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合100分の50以上

目標4 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

各年度の目標値から算出した達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標5 利用者アンケートによる患者満足度

<リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

<リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

### Ⅲ 訪問リハビリ利用者について

目標6 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

目標7 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

各年度の目標値から算出した達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標8 利用者アンケートによる患者満足度

<リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

<リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

### Ⅳ 訪問看護利用者について

目標9 利用者アンケートによる患者満足度

### Ⅴ リハビリ事業利用者について

目標10 利用者アンケートによる患者満足度

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

**目標 1 1 診療所部門 経常収支比率**

**目標 1 2 訪問看護部門 経常収支比率**

各年度の目標値から算出した執行率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

**目標 1 3 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行なう**

- S … 各年度の行動計画以上の事業を実施した。
- A … 各年度の行動計画どおりの事業を実施した。
- B … 各年度の行動計画にある事業は実施したが回数が少なかった。
- C … 各年度の行動計画にある事業が実施できなかった。

## 2. 平成28年度目標・実績・評価について

### 1. 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

#### I 外来患者について

##### 目標1 利用者アンケートによる患者満足度

##### 評価： S

外来患者の満足度調査においては、全ての調査項目が目標値を超える結果となり、高いレベルで目標が達成されていた。

今後も患者の高い満足度が維持できるように、引き続き同様の取り組みを実施していただきたい。

#### II 通所リハビリ利用者について

##### 目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

##### 評価： S

通所リハビリを終了した者45人中、目標を達成した者は13人、達成率は28.8%と、前年度と同様に目標値（5%以上）を大きく上回る結果となった。

今後も、利用者にとって質の高い通所リハビリテーションの提供を行っていただきたい。

##### 目標3 介護職員の総数のうち、介護福祉士が占める割合100分の50以上

##### 評価： S

全体の介護職員2人のうち介護福祉士は2人であり、介護福祉士の占める割合は、100%となった。

平成29年度は、在宅生活を支援する介護サービスの充実を図ることを目的とし介護福祉士の増員（1人増）を予定していることから、実現に向けた取り組みを行っていただきたい。

**目標4** 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

**評価：** S

勤続年数3年以上の者の占める割合は、全体の職員数17人のうち16人、94.1%となり、目標値の30%を大きく上回る結果となった。

平成29年度以降も、同様の取り組みを継続していただきたい。

**目標5** 利用者アンケートによる患者満足度

**評価：** A

職員の対応については、目標値を超える結果が得られた。

リハビリテーションの質・技術及び通所リハビリのスケジュールの「満足のみ割合」は、目標値に届かなかった。身体機能・日常生活動作に関しては、目標値を大きく上回る結果であった。

平成29年度においても、引き続き取り組みを続けて、目標に届かない項目については、目標達成を目指した取り組みを推進していただきたい。

### Ⅲ訪問リハビリ利用者について

**目標6** 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

**評価：** S

訪問リハビリを終了した者60人中、目標を達成した者は25人、達成率は41.7%と目標値（5%以上）を大きく上回る結果となった。

平成29年度も、引き続き質の高い訪問リハビリテーションの提供を行っていただきたい。

**目標7** 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

**評価：** S

利用者に直接提供する各職種のうち、勤続年数3年以上の者の割合は、理学療法士では8人のうち7人、作業療法士では5人のうち5人、言語聴覚士では1人のうち1人となっており、計14人のうち13人、

92. 9%となり、目標値を高く上回る結果となった。

平成29年度も、引き続き同様の取り組みを継続していただきたい。

#### **目標8 利用者アンケートによる患者満足度**

##### **評価： S**

リハビリテーションの質・技術及び職員の対応について、それぞれ「満足」と「やや満足」を足した割合が100%と、高いレベルにおいて目標を達成することとなった。

その他の項目についても、全て目標を上回った数値により達成していることから、非常に質の高い訪問リハビリテーションが提供されていた。

引き続き、平成29年度も同様の取り組みを続けていただきたい。

#### **IV訪問看護利用者について**

#### **目標9 利用者アンケートによる患者満足度**

##### **評価： S**

全ての項目において、目標値を大きく上回っていた。

また、利用者の意見においても、接遇やリハビリの相談体制等について高い評価を得られていた。

引き続き、平成29年度も同様の取り組みを続けていただきたい。

#### **Vリハビリ事業利用者について**

#### **目標10 利用者アンケートによる患者満足度**

##### **評価： S**

職員の対応について、「満足」と「やや満足」を足した割合が100%と高いレベルにより目標達成に至った。

また、プールリハビリは目標を達成するも、パワーリハビリは「満足のための割合」が目標に至らない結果となった。平成28年度中の利用回数制限が、アンケート結果に影響したものと考えられる。

平成29年度も、職員の対応については、現在の高い質を保つだけでなく、事業の運用については、利用者の満足度が高められるよう努めていただきたい。



## 2. 財務内容の改善に関する事項

### 目標 1 1 診療所部門 経常収支比率

#### 評価： B

平成 28 年度においては、86%と目標値（90%以上）を達成することができなかった。

しかし、センタークリニックの周知活動など情報発信に取り組んだ他、施設基準の見直しを実施し、平成 29 年 3 月より脳血管等リハビリテーション料（I）を取得するなど、目標達成に向け努力されていた。

平成 29 年度は、目標値が 100%となるため、目標達成に向けて安定的な経営に努めていただきたい。

### 目標 1 2 訪問看護部門 経常収支比率

#### 評価： S

平成 28 年度においては、74.1%と目標値（70%以上）を達成されていた。

市立リハビリテーション病院との連携を更に強化し、サービスエリア内の居宅介護事業所に直接出向き情報交換を行っていた。

平成 29 年度は目標値が 100%と設定されていることから、引き続き同様の取り組みを実施し、安定した経営に努めていただきたい。

## 3. その他管理に関する重要事項

### 目標 1 3 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行なう

#### 評価： S

目標に掲げる事業を全て実施していた。

中でも「リハビリ関係者向け研修会」については、事業計画を年 3 回としていたが、実績では年 15 回開催していた。

また、研修会参加者のアンケート結果からも、研修内容が充実しており、非常に好評を得ていることが伺える。

今後も多くの方にリハビリテーションを普及啓発できる事業を実施し、地域リハビリテーションの推進に努めていただきたい。